

自主課題研究（対面）

要旨

第4日目：8月28日（日）

先進事例に見る高等学校の地域協働

荻原彰（京都橘大学）・浅井勝己（長野県立白馬高等学校）・石丸幸勢（神戸大学附属中等教育学校）・小市聡（横浜市立横浜総合高等学校）・江森真矢子（一般社団法人まなびと）

キーワード：高等学校、地域協働、エンパワメント、人口減少地域、専門高校

中央教育審議会 2017 年答申は、教育課程の理念として「社会に開かれた教育課程の実現」を掲げ、「教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること」を今後の学校教育に対して求めている。このような教育政策の方向性は突然提起されたものではなく、草の根の優れた地域協働の教育実践の広がりが背景となっている。

本課題研究は、全国で広がりつつある地域協働の教育実践の中で特に高等学校（以下、高校と呼ぶ）の実践に注目する。高校は、かつては地域とやや距離のある存在であったが、島根県立隠岐島前高校の教育実践に見られるように、地域再生の核となるなど大きなポテンシャルを持つことが明らかになってきたからである。

しかし高校は小中学校に比して格段に多様である。都市、農山村といった地域の違いだけでなく、専門高校と普通高校という分化が起こり、進学校、進路多様校といった分化も起こる。当然、カリキュラムや教育手法、抱える課題の多様性が生じ、地域協働の持つ教育的意味自体も多様になってくる。

高校の地域協働を広く豊かなものにしていくためには、まずはこの多様性の内実を明らかにすることが求められる。

そこで、当日は下記の4つのタイプの高校の実践者から地域協働の経緯、工夫、成果、課題について報告していただく。

- 1 専門高校 長野県白馬高校 浅井勝己教諭
- 2 探求的な学びを強みとする進学校 神戸大学附属中等教育学校 石丸幸勢教諭
- 3 厳しい状況におかれた生徒のエンパワメントを目指す高校 横浜総合高校 小市聡コーディネーター
- 4 人口減少地域で高校が地域を元気にする核となることを目指す高校 江森真矢子 一般社団法人まなびと代表理事

ESDfor2030 における行動変容、社会変容と批判的環境教育

の再評価

野田恵（法政大学）・野口扶美子（立教大学）

キーワード：批判的環境教育、パラダイム、ナッジ理論、地域知

ESG投資の拡大など経済的なインセンティブによる企業の経営の変化や環境行動の変化を促すような制度化が進みつつある。SDGsの達成期限まで10年を切り、国連「行動の10年」においても、“ESD for 2030”においても「行動」「アクション」「変容」「変革」という表現は強まっている。国内においては、環境省が経済行動学的手法に基づく行動変容を促す「ナッジ」あるいは「ブースト」による行動変容を政策的に進めている。行動の変化だけを見れば、制度化や規制強化、経済的インセンティブに誘導されるトップダウンの手法も有効であろう。だが、それは環境教育・ESDが目指してきたものなのだろうか。むしろ、規制強化、経済的インセンティブに誘導された「行動変容」で十分であるならば、それをすることの是非を問うことや他にあるべき選択肢について議論をする余地がなくなり、「環境教育」の存在意義はほとんどないのではと、野田は問う。この問いに対し、野口は、言葉の使われ方への違和感も感じつつ、同時に歴代の環境教育・ESD関連の国際政策文書の中で言われ続けてきたこれらの言葉は、一体何を意味するのかと疑問をもつ。学習者を道具化し行動の主体性をはく奪し、働きかけをする人が“透明化”するトップダウンでテクニカルな行動変容の手法は、「環境のための教育」とはいいがたい。批判的環境教育の議論を手がかりにすることで課題を明らかにするとともに、国際文書の文言に影響を与えてきた批判的環境教育を批判的にとらえなおす作業が必要だろう。特に今のSDGsの文脈に照らして再評価を試みたいとこたえた。この自主課題研究会では、両者の問題意識をきっかけに関心のある方々と議論を深めたいと思う。環境教育が目指すべきものは何なのか—それは“行動変容”なのか、別の表現で言い表されるものなのか—を整理し、これからの環境教育の目指すべき方向性や課題を検討したい。当日は、以下の流れで進める予定である。

- 1) はじめに
- 2) 「ナッジ」に代表される行動変容を促す「環境教育」への違和感（報告：野田）
- 3) 批判的環境教育の可能性と限界—新たな認識論の立ち上げの必要性（報告：野口）
- 4) 論点整理・ディスカッション
- 5) まとめ

知る・わかる・伝えるSDGs



● 日本環境教育学会 監修
各定価2,200円

目標1~17はもちろんポストコロナ時代のSDGsも網羅した全4巻シリーズが刊行!



SDGsをより深めていくための手がかりとなる、これまでにないSDGsの必読テキスト。環境教育・ESD研究の成果をふまえ、「SDGs」と「教育」に関わる幅広い論点を扱う。教育分野の専門書として、SDGsの各目標の背景や問題の本質を学ぶために最適。

I 貧困・食料・健康・ジェンダー・水と衛生

阿部 治・野田 恵 編著

II エネルギー・しごと・産業と技術・平等・まちづくり

阿部 治・二ノ宮リムさち 編著

III 生産と消費・気候変動・海の豊かさ・陸の豊かさ・平和と公正

阿部 治・岩本 泰 編著

IV 教育・パートナーシップ・ポストコロナ

阿部 治・朝岡幸彦 編著

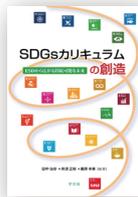
SDGsカリキュラムの創造

—ESDから広がる持続可能な未来

● 田中治彦・奈須正裕・藤原孝章 編著

定価2,200円

「持続可能な社会の創り手」の育成とSDGs学習について、実践例を元にSDGsカリキュラムを構想、羅針盤を提供。



スタディガイドSDGs

● 黒崎岳大 著

定価2,310円

SDGsについて学ぶ、大学生をはじめとした初学者の方へ向けた入門テキスト。理解するべきSDGsの基本概念について解説。



SDGsと学校教育

総合的な学習／探究の時間

—持続可能な未来の創造と探究

● 小玉敏也・金馬国晴・岩本泰 編著

定価2,200円

「総合的な学習／探究の時間」において、「変革を促す教育」を実践する教育潮流をつくり出すことを目指す。



カラフルな学校づくり

—ESD実践と校長マインド

● 住田昌治 著

定価1,980円

元気な学校は元気な教職員から!!じわじわと染みわたる等身大の学校変容。住田校長が多様性時代の学校づくりを語る。



SDGsと学校教育

教職概論

—「包摂的で質の高い教育」のために

● 岩本 泰・小玉敏也・降旗信一 編著

定価2,200円

日本の学校教育、これからの教育及び教職のあり様を考える。



社会変容をめざすESD

—ケアを通じた自己変容をもとに

● 曾我幸代 著

定価3,850円

ESDを自究し、ケアの観点から未来の可能性を教育からの変容に見出す。



動物園・水族館教育

● 朝岡幸彦 編著

2023年2月刊行予定

SDGs実現のための動物園・水族館教育(環境教育)のガイドラインを提案。

—すべての人びとが、意識を持ち行動につなげるために



SDGs時代のパートナーシップ

—成熟したシェア社会における力を持ち寄る協働へ

● 佐藤真久・関 正雄・川北秀人 編著

定価3,300円

市民・企業・自治体...等の先進的な取り組みの事例と課題・展望を多角的に論考。

「ESDでひらく未来」シリーズ



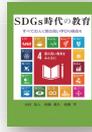
社会教育・生涯学習論

—すべての人が「学ぶ」ために必要なこと

● 鈴木敏正・朝岡幸彦 編著

定価2,090円

課題とそれらに取り組む諸実践を具体的に示し、今後の発展方向をさぐる。



SDGs時代の教育

—すべての人に質の高い学びの機会を

● 北村友人・佐藤真久・佐藤 学 編著

定価3,300円

SDGsの実現に向け、教育を通じた人材育成や知の創出を目指し多彩に論じる。



持続可能な未来のための教育制度論

● 小玉敏也・鈴木敏正・降旗信一 編著

定価2,530円

解決が必要な教育課題の解決に向け「自分ごと」として構想することを目指す。



SDGsとまちづくり

—持続可能な地域と学びづくり

● 田中治彦・枝廣淳子・久保田崇 編著

定価3,300円

地域人材を育てるための「学びづくり」に注目。教育活動の実践等の事情を紹介。



教育の課程と方法

—持続可能で包摂的な未来のために

● 鈴木敏正・降旗信一 編著

定価2,530円

現代教育の基本的課題をふまえ、包括的な内容をもつ新学習指導要領にも対応。



SDGsと環境教育

—地球資源制約の視座と持続可能な開発目標のための学び

● 佐藤真久・田代直幸・蟹江憲史 編著

定価3,300円

持続可能な開発を環境的側面から掘り下げ、SDGsの環境教育的な視座を提起。



持続可能な地域と学校のための学習社会文化論

● 降旗信一 編著

定価2,090円

4つのキーワードを編み合わせた持続可能な学習社会の創造へ誘う。



SDGsと開発教育

—持続可能な開発目標のための学び

● 田中治彦・三宅隆史・湯本浩之 編著

定価3,300円

グローバルな問題解決、持続可能な世界の実現を目指す全ての人々をナビゲート。

市民のための環境公開講座2022

オンライン
無料

開講30周年！参加者30,000人突破！！

認識から行動へー地球の未来を考える9つの視点ー

特別講座

8/21 (日)
10:00~
11:30

館内外の
魅力を
たっぷり
ご案内！

「環境水族館」アクアマリンふくしま オンラインツアー

アクアマリンふくしま 飼育展示部 展示第2グループ
上席技師/弁財天うなぎプロジェクト リーダー 春本 宜範氏



7/6
(水)

安定した地球環境（グローバル・コモンズ）を未来に引き継ぐために

地球を維持
するための
挑戦とは？

東京大学 理事
グローバル・コモンズ・センター
ダイレクター
石井 菜穂子氏



7/20
(水)

アドベンチャーレースの世界から見る自然界

話題
沸騰中の
プロアドベンチャー
レース！

プロアドベンチャー
レース
田中 陽希氏
田中 正人氏
「Team EAST WIND」所属



8/3
(水)

伝統知と生態系を活かした防災・減災

自然災害に
備える知恵
とは？

京都大学
准教授
深町 加津枝氏



9/7
(水)

誰でも気軽に楽しく 食品ロス削減に参加できるクラダシ

食品ロス。
誰もが参加
できる、その
対策とは？

株式会社クラダシ
代表取締役社長
CEO
関藤 竜也氏



9/21
(水)

四国一小さな徳島県 上勝町から広がるゼロ・ウェイスト

人はなぜ、
ごみを捨てる
のか？

株式会社
BIG EYE
COMPANY
Chief
Environmental
Officer
大塚 桃奈氏



10/5
(水)

土壌から考える気候変動と食糧危機

土が温室
効果ガスの
発生源!?

国立研究開発
法人森林研究・
整備機構森林
総合研究所
主任研究員
藤井 一至氏



10/19
(水)

企業が取り組むサステナビリティ ～「サントリー天然水の森における生物多様性の意義」～

「天然水」で
おなじみの
サントリー

サントリー
ホールディングス
株式会社
チーフ
スペシャリスト
山田 健氏



11/2
(水)

農業と農村の未来を拓くソーラーシェアリング (営農型太陽光発電)の最新動向

新しい農業
モデルの
最新動向と
は？

千葉
エコ・エネルギー
株式会社
代表取締役
馬上 丈司氏



11/16
(水)

変革のレシピ ～誰一人取り残さない環境教育～

未来へ繋がる
環境教育
とは？

環境活動家・
ドキュメンタリー
映像作家
佐竹 敦子氏



「市民のための環境公開講座」は、(公財)SOMPO環境財団、損害保険ジャパン(株)、(公社)日本環境教育フォーラム(JEEF)の3者が協働で開催する、1993年に開講した歴史ある環境講座です。
2022年は無料のオンライン講座として全9回開催します。

詳細・申込はこちら

